

## はじめに

わが国では、さまざまな要因から進行する少子化、地域コミュニティの希薄化、共働き家庭の増加など、子どもとその家族や地域を取り巻く環境が著しく変化しており、社会全体で子どもの育ちを支え合っていくことが望まれています。

このため、平成 27 (2015) 年度から、質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供や地域での子ども・子育て支援の充実を図る、「子育て支援新制度」が施行されました。さらに、令和元 (2019) 年 10 月に子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、幼児教育・保育の無償化が実施され、子育てのための施設等利用給付が創設されました。このほか、平成 28 (2016) 年の児童福祉法の改正により、全ての子どもが権利の主体であることの明確化、「子供の貧困対策に関する大綱」の見直しによる子どもの貧困対策の更なる推進など、子どもの最善の利益の実現を目指し、取組を進めています。



こうした中、朝霞市では、「このまちで 育ってよかった 育ててよかった 子育てのよろこびをわかりあえるまち 朝霞」を基本理念として、「朝霞市子ども・子育て支援事業計画」(平成 27 年度 (2015) 年度から平成 31 (2019) 年度)を策定し、子育て支援の充実に取り組んでまいりました。

現行計画が終了することに伴い、令和 2 (2020) 年度から令和 6 (2024) 年度までの 5 年間を計画期間とする「第 2 期朝霞市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、今後子どもや子育て家庭を取り巻く状況を踏まえ、より効果的な子育て支援施策を推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、御尽力を頂きました「朝霞市子ども・子育て会議」の皆様をはじめ、「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」、「子どもの生活に関するアンケート調査」等に御協力いただきました市民の皆様には心から御礼を申し上げます。

令和 2 (2020) 年 3 月

朝霞市長 富岡 勝則

# 目次

第1章 計画策定にあたって.....	1
1 計画策定の趣旨.....	1
2 計画の性格と位置づけ.....	1
3 計画の期間.....	2
4 計画の対象.....	2
第2章 朝霞市の子どもを取り巻く現状.....	3
1 人口の推移.....	3
2 出生数等の推移.....	4
3 女性の就業率の推移.....	5
4 就学前児童等の状況.....	6
5 小学校児童・放課後児童クラブ利用者の推移.....	7
6 障害のある子どもの状況.....	8
7 ひとり親家庭の状況.....	9
8 児童虐待に関する状況.....	10
9 外国につながりのある子どもに関する状況.....	11
10 アンケート調査結果の概要.....	12
(1) 子ども・子育て支援に関するアンケート調査.....	12
(2) 子どもの生活に関するアンケート調査.....	24
(3) ヒアリング調査結果の概要.....	32
11 第1期計画の振り返り.....	36
12 現状と課題のまとめ.....	42
第3章 計画の基本的な考え方と目標実現のための施策.....	43
1 基本理念.....	43
2 大切にすべき視点.....	44
3 基本目標.....	45
4 施策の体系.....	46

第4章 次世代育成支援行動計画.....	49
基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち.....	49
基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち.....	63
基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち.....	73
第5章 子ども・子育て支援事業計画.....	79
1 子ども・子育て支援新制度の概要.....	79
2 教育・保育提供区域の設定.....	80
3 子ども・子育て支援事業に係る対象人口の見込み.....	80
4 計画の設定と進捗管理.....	81
5 幼児期の学校教育・保育の提供.....	82
6 地域子ども・子育て支援事業の充実.....	83
第6章 計画の推進・進捗管理体制.....	97
1 計画の推進体制.....	97
2 情報提供・周知.....	97
3 計画の評価・検証・公表.....	97
資料編.....	98
1 策定の経過.....	98
2 朝霞市子ども・子育て会議条例.....	100
3 朝霞市子ども・子育て会議委員名簿.....	102
4 関連事業の一覧.....	103
5 用語集.....	111